

製品名: カスパーゼ 12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07964**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP12
別名	CASP12; Inactive caspase-12; CASP-12
遺伝子 ID	120329.0
SwissProt ID	Q6UXS9
免疫原	抗血清はヒトカスパーゼ 12 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 50-99

背景

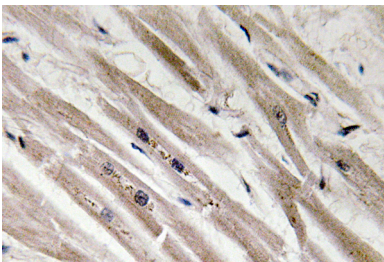
カスパーゼは、基質分子の C 末端アスパラギン酸残基を切断するシステインプロテアーゼです。この遺伝子は、炎症性サイトカインを処理するカスパーゼの ICE サブファミリーのメンバーと最も関連が深いです。齧歯類では、この遺伝子のホモログが小胞体ストレス

に反応してアポトーシスを媒介します。しかし、ヒトでは、この遺伝子は未熟終止コドンの有無に関する多型性を有しています。ヒトの大多数は未熟終止コドンを有し、短縮された非機能性タンパク質を産生します。このリードスルーコドンは主にアフリカ系の人々に見られ、保因者はエンドトキシン低応答性と重症敗血症に対する感受性の増加を示します。この遺伝子には、いくつかの選択的スプライシングによる転写バリエーションが知られています。 [RefSeq 提供、2011年2月]、タンパク質分解、アポトーシス、ウイルス感染細胞のアポトーシス、ER-核シグナル伝達経路、折り畳まれていないタンパク質への応答、細胞死、有機物への応答、細胞死の調節、プログラム細胞死、死、小胞体折り畳まれていないタンパク質への応答、ストレスに対する細胞の応答、折り畳まれていないタンパク質への細胞の応答、小胞体ストレスへの応答、アポトーシスの調節、プログラム細胞死の調節、タンパク質刺激への応答、小胞体ストレスに対するアポトーシス、

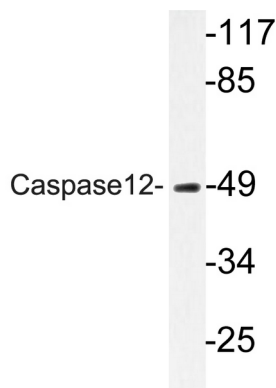
研究分野

-

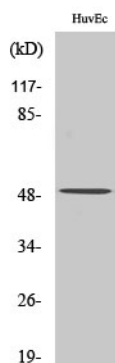
画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓組織におけるカスパーゼ 12 抗体の免疫組織化学分析。



Caspase12 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



1: 500 希釈のカスパーゼ 12 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析